

クレーン運転業務特別教育 記入例

受講者名簿及び人材開発支援助成金（建設労働者技能実習コース（経費助成・貸金助成））の助成金支給申請内訳書

① 受講者名簿									②建設労働者技能実習コース（貸金助成）の助成金支給申請内訳				③-1受講証明					
No.	35歳未満※1	受講者氏名	C C U S ※2	所属事業所名	雇用保険被保険者番号	雇用保険料率(1000分の)	下請名簿番号	資本金・出資総額(円)	常用労働者数(人)	建設業許可番号	受講日数(日)	助成対象日数(日)	申請額(助成対象日数×助成日額単価)(円)	※算定額(円)労働局記載欄	実施年月日	実施時刻 上段：開始時刻 下段：終了時刻	学科時間	実技時間
1								雇用保険料率は年度によって変わることがあります。							免除コースの記入例	:		
2	○	建設 一郎	○	(株) ●●組	1111-222222-3	××		5000万円	10人	般-26第 x x x 号	2日	2日	△△△円		令和〇〇年〇〇月〇〇日	8:45 17:30	7	
		2日間講習なので1人あたり2行必要		"	"										令和〇〇年〇〇月〇〇日	8:50 12:00	4	
4																		
5																		
6																		
7																		
8																		
9																:		
10																:		
合計											2日	2日	△△△円					

実施時間は会場により異なりますので、各カリキュラムの時間を記入してください。オリエンテーションは含まれません。

※1：（雇用保険被保険者が21人以上の中小建設事業主のみ）訓練開始日において35歳未満である者に○を記入してください。なお、35歳未満の者とは訓練開始日が35歳の誕生日の前々日である者です。  
※2：建設キャリアアップシステム（CCUS）技能者情報登録者は○を記入してください。

所属する建設事業主団体が技能実習を実施した場合又は登録教習機関等に委託して技能実習を実施した場合は③-1及び③-2を訓練実施機関が記入し証明をしてください。その際、裏面の2の(5)のロの(ii)について、確認してください。 事業主自ら技能実習を実施した場合は事業主が③-1を記入してください。③-2の記入は必要ありません。	③-2 受講証明	※備考
	労働局長	
	上記の者は、当社（団体）が実施した技能実習の受講者であり、上記の受講日（時間）の数を受講したものであること、数の7割以上の時間を受講したことを証明します。また、裏面の2の(5)のロの(ii)について、同意します。	
	証明年月日	年 月 日
	実施機関名	
代表者氏名		
連絡先電話番号		

※記載に関して  
※青文字部分をご記入ください。  
※こちらは記入例であり、実際に使用する申請内訳書は労働局よりダウンロードしてお使いください。  
※改訂や年度により、内訳書の様式が変わる場合がございます。必ず労働局より最新版の助成金申請内訳書をお使いください。

(注) この内訳書に記入するときは、裏面の注意事項を参照してください。